

前橋には、なんと、285もの自治会があります。大規模な震災を経験することにも、自分たちのことを自分たちで決めることが求められる地方創生の時代、自治会に改めて注目が。自治会は前橋の宝、可能性です。

県都まえばし 創生の底力 地域ネット ワークが創る 未来。



Work for the good of
the community.



南町二丁目 水神社夏祭り
本町二丁目 大判上毛かるた大会
岩神地区 グラウンドゴルフ大会
元総社町第三 道祖神祭



粕川町中之沢 秋祭り
苗ヶ島町 七草粥祭り
西善町下両家 百万遍
江木町第二 竹灯ろう送りお盆



まちなかの学生向けシェアハウス「シェアフラット馬場川」。入居する学生は中心商店街の行事や自治会活動などに参加。世代を越えた交流が街を変えると期待される
池端町 十日夜
大手町二丁目 いきいきサロン 投扇興



前橋市自治会連合会
角田 雄二 会長

今の時代に求められる自治会
つながりで課題に向き合う

環

境美化や防犯、自主防災会、団体の育成など、各自治会はまちを良くする独自の活動を行う。その285の自治会のネットワークが前橋市自治会連合会だ。会長を務めるのは、下小出町の自治会長も20年以上務めている角田雄二会長。

「連合会は各町の横のつながりで。地区ごとに状況は違ってもノウハウを共有しないと」
各町の自治会には誠実に目の前の問題に向き合う役員たちがそろう。しかし、少子高齢社会では、自治会だけでは解決できないこともある。そのためには警察や福祉施設、民生・児童委員などと連携し、より広い地域ネットワークを構築していくことが急務となっている。
「日頃からのコミュニケーションが全て。いざというときだけの連絡

相談では遅いですよ。そのために普段から顔を合わせて話し合い、信頼関係を築いているのです」

共

愛学園前橋国際大の木村陸人さん。高1の時に、子ども会育成会でのボランティアを始めたことをきっかけに、自治会や地域の活動へ積極的に参加するようになった。「地域の人とのつながりをもっと強くしたいと思い、地元の大学に進学しました。私の大学では、地域や企業などと連携して、幅広い交流を持つとうとする機運が強いですよ」Mサポのクリーン活動やNPOなどに、幅広く顔を出している。

「学生としてだけではなく、一人の人として社会とどう関わるべきか、勉強する良い機会になっています」多くの学生たちにとって、自治会などあらゆる年代が集まる場は、なじみづらさがあるのも事実。ただ、木村さんのように1歩、2歩踏み出すと、自分を大きく成長させてくれる人脈や、思いもしないやりがいを得ることができるかもしれない。

学生の活動と、地域の活動
もっと接点を持たないといけない



共愛学園前橋国際大2年
木村 陸人さん 19歳